

千代田図書館&実業之日本社 連携展示

原爆から蘇ったヒロシマの木 写真展

千代田図書館では、実業之日本社と連携し、展示「原爆から蘇ったヒロシマの木 写真展」および、著者による関連講演会「原爆から蘇った ヒロシマの木 被爆樹を知っていますか？」を開催いたします。ぜひご注目ください。

展 示 原爆から蘇ったヒロシマの木 写真展

1945年8月6日8時15分、原子爆弾が投下。その翌春、再び芽を吹き返し、今も生き続けている木々があります。爆心地から約2キロ以内で被爆し、現存する約170本を広島市は「被爆樹木」として登録しました。

本展では、被爆の傷痕を残した木々の写真(杉原梨江子『被爆樹巡礼』実業之日本社より)約40点のほか、東京大空襲を生き延びた千代田区の木の写真を展示します。

会期	2016年6月27日(月曜日)～8月31日(水曜日)
場所	千代田図書館9階＝ミニ展示コーナー
主催	実業之日本社／千代田区立千代田図書館

関連講演会 原爆から蘇った ヒロシマの木 被爆樹を知っていますか？

焼野原のヒロシマで再び息を吹き返した約170本の木々。その小さな緑に、人々は生きる力と希望を見いだしました。

文筆家・杉原梨江子氏は、2008年から「被爆樹木」1本1本を訪ね歩いて撮影し、被爆の記憶のある人や木を守っている人々に話を聴き、『被爆樹巡礼』(実業之日本社)としてまとめました。

本講演会では、杉原氏が原爆の傷痕を残す木々の特徴とエピソードなどをお話しします。

日時	2016年8月2日(火曜日)午後3時～4時30分(午後2時30分開場)
場所	千代田図書館10階＝特設イベントスペース
定員	25名／事前申込制、先着順、参加費無料 ※小学生以下は保護者同伴
申込方法	7月5日(火曜日)午前10時より、電話・来館(10階カウンター)・Web申込にて受付 ※視覚障害や車いす利用などの配慮・支援をご希望の場合はお申し出ください。 申込受付：千代田図書館 03-5211-4289・4290(平日10:00～18:00)

本件お問合せ先：千代田図書館 広報担当：坂巻 TEL 03-5211-4288

お客様お問合せ先：TEL 03-5211-4289・90／千代田区九段南1-2-1千代田区役所9・10階

千代田区立図書館ホームページ <http://www.library.chiyoda.tokyo.jp/>